

ホームインスペクション 価格一覧表

ご依頼ありがとうございます 各種診断料金は下記の通りとなります。

基本プラン	
ホームインスペクターが外観、建物内部、水回りなどを調査する基本的なプランです。	
主な診断内容	金額
外壁仕上げ材、基礎外部の状態の目視、触診、打診によるチェック 内装材の状態の目視、触診、打診によるチェック 玄関・浴室等のタイル部分の浮上り等のチェック 水回り(台所、トイレ、洗面所、浴室等)の水漏れ、排水状態のチェック	50,000円+税 (税込54,000円)

※詳細は裏面へ

その他、オプションとして下記診断も合わせて行う事をオススメします(^^)

床下診断	
ホームインスペクターが床下点検口などから床下の内部に入り、移動して目視できる範囲を調査します。進入できない場合でもキャンセル料はかかりません。配管からの水漏れやシロアリ被害、断熱施工や施工不良が心配な方にお勧めです。	
主な診断内容	金額
土台、床下地材の状態の目視、触診、打診によるチェック シロアリ、害虫の生息の有無のチェック 各種配管(水道、ガス、電気等)の状態のチェック 基礎、地盤の状態の目視、触診、打診によるチェック	20,000円+税 (税込21,600円)

キャンセル代はかかりません

※詳細は裏面へ

天井裏診断	
ホームインスペクターが天井点検口などから屋根裏の内部に入り、移動して目視できる範囲を調査します。進入できない場合でもキャンセル料はかかりません。雨漏りやシロアリ被害、断熱施工や構造部材の施工不良が心配な方にお勧めです。	
主な診断内容	金額
屋根下地材の状態の目視、触診、打診によるチェック 天井裏の雨漏り(水シミのあとの有無を含む)のチェック 各種配管(水道、ガス、電気等)の状態のチェック 構造金物のチェック	15,000円+税 (税込16,200円)

キャンセル代はかかりません

※詳細は裏面へ

具体的なチェック項目(チェックリストの一部を抜粋)

【屋外】

基礎のひび割れ・著しい欠損・鉄筋の露出・浮き・剥がれ・蟻道、外壁のひび割れ・欠損・浮き・剥がれ・チョーキング・隙間・腐食・白華、シーリング材のひび割れ・剥がれ、屋根のひび割れ・欠損・剥がれ・変色やコケの発生・腐食・隙間・ずれ・錆び・浮き・雨漏り、雨樋の破損・著しい変色・つまり・はずれ・ひび、軒裏のひび割れ・欠損・ひび割れを伴う浮き・剥がれ・雨漏り・割れ・腐食、バルコニーの防水層の破断・支持部分の欠損・支持部分の腐食・床の沈み・床の欠損・床の腐食等・手すりのぐらつき・支持部の腐食等、サッシの周囲の大きな隙間、面格子ぐらつき・サビ・腐食、転落防止用手すり(窓手摺りなど)手すりのぐらつき・支持部分の腐食等、シャッター・雨戸・網戸の動作不良、外部階段の構造体や支持部の欠損・取り付け部の破損、踏面の腐食・破損、転落防止用手すりのぐらつき、支持部分の腐食等



【室内】

壁、柱及び梁のうち屋内に面する部分および壁面の仕上げの剥れ・腐食・カビ・仕上げ・割れ・欠損・浮き・剥れ・ひび割れ、床の割れ・剥れ・腐食・カビ・染み・めくれ・変色・著しい磨耗・ひび割れ・浮き、天井壁紙等の剥れ・亀裂・腐食・カビ・ひび割れ・欠損、階段の著しい沈み・きしみ・踏み面の傾き、建具(室内ドア等)の動作不良・反り・変形、内部耐力壁の固定ビス間隔(2×4工法)・耐力壁1倍のビスピッチ150超(在来構法)

【床下】

土台及び床組の構造耐力上支障があると思われる部材や接合部の割れ・腐朽・発錆・木材含有水分率、基礎のうち屋外に面している立ち上がり部分の基礎立上りのひび割れ・鉄筋の露出が伴う欠損、基礎のうち耐圧盤および屋外に面しない基礎立ち上がり部分の基礎立上りのひび割れ・鉄筋の露出が伴う欠損・防湿処置・腐食を伴う著しい隙間等・ベタ基礎(耐圧盤)・ひび割れ・鉄筋の露出が伴う欠損、束の緩み・浮き・腐食・浮き、災害履歴・漏水等の跡・火災等の跡



【小屋裏・天井裏】

梁桁および小屋組の構造耐力上支障があると思われる部材や接合部の割れ・金物の不足や緩み・腐朽・発錆(鉄骨造)・換気ダクトの接続不良・木材含有水分率(木造の場合)



各階間の天井裏の構造耐力上支障があると思われる部材や接合部の割れ・金物の不足や緩み・腐朽・発錆(鉄骨造)・換気ダクトの接続不良・欠損・漏水等の跡・火災等の跡・蟻害等の跡



【設備】

キッチンの著しい給水量不足・床上の漏水・封水の吸引、または噴出し・給排水全般・換気設備の動作不良、洗面の著しい給水量不足・床上の漏水・給排水全般、浴室の著しい給水量不足・漏水・給排水全般、トイレの著しい給水量不足・床上の漏水・給排水全般、給湯機器周辺の漏水・製造年、電気温水器・機器周辺の漏水、最終枡(敷地内)の著しい堆積物・内部の隙間、火気使用質の火災報知器設置(居室・階段室等) 他



※高所の確認は、1.2メートル程の脚立を使用して安全に確認出来る範囲となります。あらかじめご了承くださいませ